

ったか?)、地域住民団体防災力の把握、女性の視点を取り入れた避難所運営、各地の災害時の被災状況の把握などについては、特に従前の回答の域を出ない答弁であったと判断し、本紙面での紹介は省略します。今後柏市には、より明確で具体的な答弁を期待します。

なお岡田議員からは、上記「女性の視点を取り入れた…」の質問の中で、地域女性防災サークル「風北ジョイナス」の紹介がありましたので申し添えます。



ひまわりプラザ大ホール天井の補修など

【市民生活部長の答弁から】市の指定避難所であるひまわりプラザの大ホールにつき、老朽化で震災時は天井からの落下物のおそれがありました。特定天井※の扱いでワイヤーネット設置での改修実施が明らかとなりました。懸案となっていた点がひとつ解決に向け動き出しました。また同館のトイレ（洋式化の要求）問題は市から「検討」とのやや前向きな発言がありました。



永塚洋一 市民生活部長

館内トイレの改善（洋式化及び増設）は、能登半島地震でも公共トイレ問題がクローズアップしていることから、避けて通れない問題として、市への申し入れを継続してまいります。

※国土交通省通達で高さ6m以上、広さ200㎡超のスペースの天井が災害時に脱落で重大な危険が起こるおそれがある天井を指し、管理者は防止対策を講じる必要があるとされています。

本審議を傍聴しての所感（風早北部地域ふるさと協議会）

危機管理部がスタートして2年、「以前と何も変わっていない」との市民の酷評が少なくない中、同部長の一言「市の危機事象への備えは万全といえない。市民の協力を得ながら改善に努め、安全安心につなげて参りたい」を一つの拠り所に、市民や市民・地域団体の多くを巻き込んでの、真の意味で市民防災訓練の実現に向け、当会防犯防災部も今期の運動に邁進してまいります。

（市議会結果からの報告はおわり）

本紙面掲載の画像は、柏市議会の動画サイトから切り取り、事前に柏市市民活動支援課に使用の可否を照会し了承を得たものです。